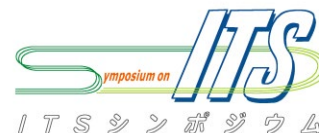


# 第 20 回 ITS シンポジウム 2022

## 2022 年 12 月 8 日(木)～9 日(金)



柏の葉カンファレンスセンター/東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト\*1

## Call for Papers

### テーマ：社会で機能する ITS ～次世代モビリティサービスの社会実装のために～

情報通信技術を交通、車両と結び付け、移動手段の高度化を図ってきた ITS は、カーナビゲーションシステムの高性能化、ETC、さらに高度化した ETC2.0 の社会実装などに貢献し、これからもさらに進化を遂げ、社会で機能することが期待されている。また、社会では自動運転への期待が高まっている。2019 年に道路交通法と道路運送車両法が改正され、SAE の自動化レベル 3 に相当する自動運転の公道走行が認められ、2021 年 3 月にはレベル 3 の機能を搭載した市販車が登場した。それに続き 2022 年には、SAE の自動化レベル 4 に対応した道路交通法の改正が行われる見込みである。これにより、近い将来、公道上で運転者のいない車両によるモビリティサービスが展開される可能性もある。ITS は交通データ解析、ドライバーへの情報提供による運転支援のための技術に留まらず、車両の制御に関わることも期待され、今後もより一層の技術革新が求められていくことになるであろう。

一方、レベル 4 の自動運転によるモビリティサービスには、維持が困難になりつつある公共交通を持続可能にし、過疎化、高齢化といった社会課題が存在する中、安全で快適なモビリティを提供する存在となることが期待されている。車両単体の技術開発に留まるのではなく、社会の変化に対応して都市を進化させていくイノベーションとなる。そのためには技術課題の解決だけに目を向けるのではなく、人間を幸福にする暮らしとは何かを考え、データ連携が進みサイバー・フィジカル化していく社会の動きを見据えた中で、モビリティの在り方を考える必要がある。

柏市はスマートシティ事業を進めており、特に会場となる柏の葉地区は、大学・企業を中心に様々な新技術の実証実験が行われている。イノベーションを積極的に取り入れて、快適な暮らしの実現を目指している柏の葉で、次世代モビリティサービスの社会実装につながる ITS を、シンポジウム参加者と議論できることを楽しみにしている。

投稿時に「査読あり」「査読なし」のいずれかをお選びください。査読ありを希望され、採択された論文は International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJIT)<sup>2</sup>に掲載されます。

#### ●査読あり

- (1) 提出期限: 6 月 1 日(水)
- (2) 提出物: A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。  
指定のフォーマットに従って作成してください。  
フォーマットは [https://www.its-jp.org/katsudou/its\\_symposium/20th2022/cfp/](https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/20th2022/cfp/) に掲載します。
- (3) 提出先: IJIT 投稿サイト: <http://www.editorialmanager.com/ijit/> Article Type は ITS Symposium を選択してください。
- (4) 結果通知: ジャーナルの採否結果は 10 月末にご連絡する予定です。採択論文は、ジャーナル通常号の論文として取り扱われます。この時点までに採用に至らなかった論文は引き続き査読を受けることができ、最終的に採択に至った場合にはジャーナルに掲載されます。
- (5) 発表: 上記の採否に関わらずシンポジウムでの発表を必須とします。対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます\*3。
- (6) シンポジウムにおける論文掲載: 二重投稿を避けるため、シンポジウムにおいては投稿された論文のabstractをウェブサイトに掲載します。

#### ●査読なし

- (1) 提出期限: 8 月 15 日 (月)
- (2) 提出方法: 250 字程度のabstract。使用言語は日本語または英語。
- (3) 提出先: [https://www.its-jp.org/katsudou/its\\_symposium/20th2022/cfp/](https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/20th2022/cfp/) でご登録ください。
- (4) 結果通知: 9 月下旬
- (5) 最終原稿: 11 月 4 日(金)までにウェブサイト掲載用の A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出いただきます。
- (6) 発表: 採用された論文は対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます\*3。

人を対象とする研究においては研究対象者の尊厳および人権を尊重するとともに、被験者の生命・健康・安全の確保に配慮しなければなりません。研究対象者に係るデータや情報は適切に扱い、プライバシーを保護するとともに、被験者からインフォームド・コンセントを得なければなりません。また、研究を計画、実施するにあたっては所属機関等の倫理委員会の承認を得ることが必要です。

\*1 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンラインあるいはハイブリッド開催となる可能性があります。

\*2 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research: <https://www.springer.com/journal/13177>

\*3 基本言語は日本語ですが、海外の方は英語可とします。

## ■スケジュール (予定)

### ●査読あり

フルペーパー投稿締切	6月1日
1次判定結果通知	7月末
修正論文提出	8月末
ジャーナル採否通知	10月末
ジャーナル論文掲載	採用後順次
シンポジウム論文公開	11月21日

### ●査読なし

アブストラクト投稿締切	8月15日
採否通知	9月下旬
掲載用最終稿提出	11月4日
発表資料提出	11月中旬
シンポジウム論文公開	11月21日

## ■参加登録料

タイプ	11月30日まで		12月1日より	
	会員	非会員	会員	非会員
聴講	一般	15,000円	18,000円	23,000円
	学生	3,000円		
論文発表	一般	15,000円		
	学生	8,000円		

※ジャーナル掲載のための掲載料は廃止いたしました。査読あり・なしの別なく、上記の登録料で論文をご発表いただけます。

## ■募集する論文の分野

### A. Challenges and Opportunities of Big Open Data

Open data management and application  
Data sharing and exchange  
Ubiquitous sensing  
Technology for data collection  
Availability and quality of data  
Data visualisation  
Data fusion  
Predictive analytics  
New business models for traveller information  
Security in an open environment

### B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system  
Next generation traffic management  
Transport modelling  
Road user charging  
Travel demand management  
Integrated ticketing and payment  
Incident management

### C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems  
Human factors and human machine interface  
Field operational tests, pilots and demonstrations  
Positioning, mapping and navigation  
Security and integrity for connected and automated vehicles  
Mobility as a service - a transport revolution?  
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

### D. Mobile Applications

Multi modal real time information  
Multi modal journey planner  
Demand responsive public transport  
Taxi and parking reservation  
Real time traffic advisory

### E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction  
Technology and system for safety and enforcement  
Advanced driver assistance and support systems  
Human factors  
Emergency pre-emption and notification  
Post-crash response  
Improving safety of vulnerable road users  
e-call  
Roadwork safety and inclement weather management  
Preventative and active safety systems

### F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management  
Logistics  
Railway network operation  
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

### G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction  
Electro mobility and charging  
Eco driving  
Reducing noise  
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing  
Encouraging active transport and mode shift

## ■第20回 ITS シンポジウム 2022

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

協賛(予定)： 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会モビリティ社会部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長 須田義大 (東京大学 生産技術研究所 教授 / 東京大学 モビリティ・イノベーション連携研究機構長)

プログラム委員長： 中野公彦 (東京大学 生産技術研究所 教授)

プログラム委員会： 安藝雅彦(日本大), 安藤孝幸(愛知製鋼), 伊藤太久磨(東京大), 岩岡浩一郎(パナソニック コネクト), 荻内康雄(住友電工), 小野晋太郎(福岡大), 川崎洋輔(日本大), 杉町敏之(東京都市大), 瀬尾亨(東京工業大), 田中伸治(横浜国立大), 塚田学(東京大), 外山友里絵(三菱総研), 中村俊之(名古屋大), 森博子(愛知淑徳大), 柳沼秀樹(東京理科大), 和田健太郎(筑波大)

問合せ先： ITS Japan 井出 h-ide@its-jp.org